

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

【活動紹介】

第6回紀北のつどいを開催しました

令和4年11月1日、多面的機能の維持・発揮活動 第6回紀北のつどいを開催しました。コロナ禍で開催を自粛していたため、令和元年度以来3年ぶりの開催となりました。感染予防の観点として、外部講師による Web 講演、3会場でのオンライン開催等、内容・方法を工夫しました。

なお、Web 講演については「紀北サル被害対策研修会」と銘打ち、多面的機能活動組織以外の一般農業者の参加も可能としました。

実施会場：紀北町役場(メイン会場)、紀北町海山支所(サブ会場1)、県尾鷲庁舎(サブ会場2)

参加者数：61名(うち活動組織メンバー：7組織10名)

<内容>

Web 講演：紀北サル被害対策研修会(兵庫県立大学：山端教授) ※一般参加可

「耕作放棄地の柿の木等、人が『被害と思わない』餌があり、これが餌付けとなってしまう。集落ぐるみでの餌場の管理、追い払い、緩衝帯整備等の『被害管理』が重要であり、それを行政が支援することでサル被害は必ず軽減できる。」との講演をいただき、集落と行政が一体になって対策を実施していくことの重要性を認識しました。

刈払機安全研修

DVD 視聴による研修を実施しました。

畦畔管理紹介(紀州地域農業改良普及センター：山本技師)

雑草対策が課題となっている畦畔管理において、ノシバによる省力化の実証実験を紹介いただきました。実証圃場の方からは、草刈りの回数が減り、もっと広げて行きた



メイン会場



サブ会場

いとの声があるそうです。

田んぼダム紹介(農山漁村づくり課：浦田係長)

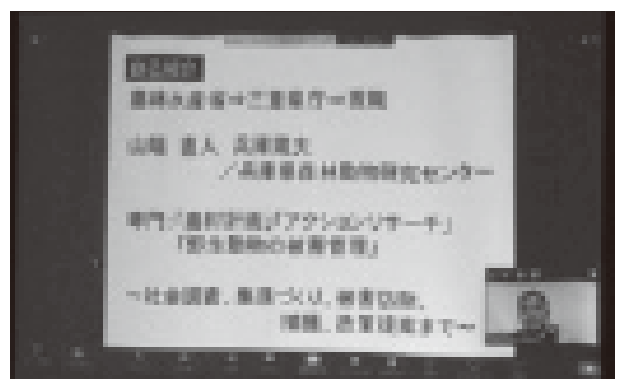
堰板1枚でできる治水対策の田んぼダムを紹介していただきました。

<まとめ>

当地域においては、特に獣害対策、耕作放棄地の対策について要望の声が多く、参加者からは、「非常に良い講演だった」との声もいただきました。今後も状況を踏まえた内容で、参加者にとって有意義なつどいを開催していきます。



畦畔管理の紹介



山端教授による Web 講演

【活動紹介】 多面的機能支払活動 「第3回 熊野地域のつどい」を開催しました

令和5年2月21日（火）に、三重県熊野庁舎にて、多面的機能支払活動「第3回熊野地域のつどい」を3年ぶりに開催しました。



岡本所長による開会挨拶

管内の活動組織と来年度以降に活動を開始する予定の地区、あわせて20組織（地区）25名の参加がありました。

開会挨拶の後、熊野農林事務所の取組として、管内で17組織ある活動組織の方に地域の現状や今後の展望をインタビューし、記事を作成していることを紹介しました。作成した記事は熊野農林事務所のHPに掲載して広く発信しています。



インタビュー記事のパネル展示



熊野農林事務所 HP

【令和4年度の活動組織数】

熊野市：4組織 御浜町：4組織
紀宝町：9組織

今回のつどいでは、平成19年度の農地・水・環境保全向上対策の時代から15年以上活動を継続している「五郷環境をまもる会（熊野市）」「大里農村環境活動組織（紀宝町）」「高岡環境活動会（紀宝町）」の3組織について、これまでの活動に敬意を表するとともに、今後より一層の活躍を期待したいという思いから「長期活動表彰」を実施しました。



長期活動表彰式での記念撮影

表彰を受けた組織は、「人口が減少しているなかで、地域の状況は厳しくなっているが、いろいろな方に支えてもらいながらここまで活動が続けることができた。今後みんなで協力しながら頑張っていきたい。」と意気込みを語りました。

表彰の後には、活動組織間及び他地域の方との交流や、情報・意見交換を目的として、ワークショップを実施しました。

「多面的機能支払の活動や、地域の自慢を出し合おう」というテーマでは、「景観植物を多くの人が見に来てくれた」「田植えや稲刈り等を小学生と一緒にしている」「活動後の雑談が楽しい」など、各テーブルで活発な意見交換が行われていました。

今回参加された皆様にとって、地域の魅力を再発見するとともに、他地域の良い取組を持ち帰り、より活発な活動につなげていただく機会になれば嬉しいです。

また、アンケート結果からは「参加して良かった」という声も多くいただき、今後も組織や地域が抱える様々な課題を解決するため、活動組織の皆様との連携を密なものとし、研修会や情報交換会などの開催を検討してまいります。



ワークショップの様子